ひとよし市議会だより

第118号

2023/令和５年11月１日 発行

～地域で守り継がれる観音堂（鹿目町）～

主な内容

② ９月定例会
議案等の議決結果
③～⑤ 委員会報告
⑥～⑨ 一般質問～市政を問う～

編集　議会報編集委員会

発行　人吉市議会
人吉市西間下町字永溝７－１
☎　０９６６－２２－２１１１（代）
E-mail　gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます
URL　https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/

９月定例会報告

令和５年９月第５回定例会は９月４日から９月 26 日までの 23 日間開催しました。

令和５年度一般会計補正予算

3億 5,249 万8千円 増額可決

（補正後の総額は 224億 6,302 万9千円）

決算特別委員会を設置しました

９月定例会最終日に、令和４年度の決算を審査する特別委員会を設置しました。委員会は閉会中に審査を行い、12 月定例会で結果を報告します。

委員長　平田　清吉　　副委員長　本村令斗
委　員　松村　太・池田　芳隆・牛塚　孝浩
　　大塚　則男・井上　光浩・田中　哲

審議された議案等の議決結果

番　号	件　　名	議決結果	番　号	件　　名	議決結果
議第66号	令和５年度　人吉市一般会計補正予算（第４号）	原案可決	議第77号	人吉市奨学生選考委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第67号	令和５年度　人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	議第78号	人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第68号	令和５年度　人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決	議第79号	人吉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第69号	令和５年度　人吉市介護保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決			
議第70号	令和５年度　人吉市水道事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	議第80号	人吉市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第71号	令和５年度　人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	議第81号	人吉市まち・ひと・しごと総合交流館条例の一部を改正する条例の制定について	修正可決
議第72号	令和５年度　人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決	議第82号	人吉市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第73号	令和４年度　人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	継続審査	議第83号	人吉市過疎地域持続的発展計画を変更することについて	原案可決
議第74号	令和４年度　人吉市公共下水道事業特別会計決算の認定について	継続審査	議第84号	土地の処分について	原案可決
議第75号	人吉市奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第85号	財産の取得についての議決内容の一部変更について	原案可決
議第76号	人吉市奨学金給付条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第86号	令和４年度　人吉市歳入歳出決算認定について	継続審査

…９月定例会　陳情等の議決結果…

付託委員会	件　　名	議決結果
総務文教委員会	カルチャーパレス大ホール改修に関する陳情	趣旨採択
経済建設委員会	九日町・大工町の災害公営住宅の建設に関しての陳情書	継続審査

議員別表決 …「表決が割れた」議案とその議員別表決…

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議案番号	議案＼議員氏名	川上紗智子	松村　太	徳川禎郁	池田芳隆	牛塚孝浩	宮崎　保	大塚則男	平田清吉	井上光浩	豊永貞夫	西信八郎	村上恵一	本村令斗	田中　哲	福屋法晴	宮原将志	議決結果
陳第１号	カルチャーパレス大ホール改修に関する陳情	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	／	趣旨採択

○：趣旨採択に対して賛成　●：趣旨採択に対して反対　／：議長は表決に加わりません

総務文教委員会報告

●委員長　松村 太　　●副委員長　池田 芳隆
●委　員　川上 紗智子・平田 清吉・豊永 貞夫・宮原 将志

条例改正を承認

人吉市奨学金貸与条例の一部改正は、題名を「人吉市貸与型奨学金条例」へ改め、他の給付型奨学金との併給を可能とするなどです。人吉市奨学金給付条例の一部改正は、題名を「人吉市給付型奨学金条例」へ改め、他の奨学金・給付金等との併給を認め利用しやすくし、給付額も増額するものです。各奨学金条例については今年度の募集から適用する予定です。委員からの「これまでの申し込み数は」との質疑に対し「令和３年度が高等学校６人、専修学校１人、大学１人の合計８人。令和４年度が、高等学校６人、大学１人の合計７人の申し込みがあった。」との答弁があっております。

令和５年度一般会計補正予算（第４号）を承認

総務部関係の主なものは議会運営の利便性向上を図る議会用タブレット端末導入経費。教育部関係では令和６年度新入学児童祝品の算数セット購入費用等です。また東間小学校及び大畑小学校体育館の屋根改修設計業務委託料。大畑小学校体育館トイレの洋式化改修工事費。東間コミセン玄関前ひさし改修、同コミセン敷地出入口の舗装修復費用です。また 12 月に実施予定の人吉駅伝大会経費等や人吉市学校教育振興基金への寄附金の積み立などです。審査の過程において委員から「令和６年度新入学児童は何人か」との質疑に「新入学児童数は 240 名を見込んでいる」との答弁があっております。

カルチャーパレス大ホール改修に関する陳情を趣旨採択

陳情の内容は、早急にカルチャーパレス大ホールの改修に着手することを求めるものです。陳情受理後、様々な調査を経ながら、カルチャーパレスを支える会の皆様とも意見交換会を行いました。委員から「いつ頃までに市の方針を出すのか」との質疑に、「今年度中に個別施設計画の見直しを行う。来年度には更新後の計画を示す予定である。」と答弁。「目途はいつ頃までに立てようとされているのか。」との質疑に「少なくとも今後５年間は厳しいと考えている。」と答弁。「カルチャーパレスの稼働率はどれくらいか。」との質疑に「使用していた時の大ホールの稼働率は 11 ～ 16%を推移。現在の小ホールは 22 ～ 23%である。」と答弁。委員から「5・10・15 年このままであれば、ネット改修はいいと思う。」「耐用年数残り 20 年を有効活用するためにネット改修を行った方がいい。」「できるだけ早く市の方針を示してもらいたい。」などの意見があり、挙手による採決の結果、賛成多数により趣旨採択とすることに決しました。

カルチャーパレスを支える会との意見交換会

総務文教委員会は、カルチャーパレスを支える会（11名）と意見交換会を実施しました。

テーマ：カルチャーパレス大ホールの今後について

場　所	カルチャーパレス　第２会議室	日　時	令和５年８月７日(月)１０:００～１２:００

意見交換会の様子

- 小ホールの利用が可能になる中、様々な催しを取り組み、感動・笑い・癒し・活力・希望を与えてくれる文化芸術がいかに大切か改めて思い知った。
- 今の人吉市民にとって、文化芸術による心の復興が大切であり、文化の殿堂が必要である。
- 子供のうちから、大きなホール、音響のいいホールで演奏したり、聴いたりできる環境を一日も早くつくってほしい。
- 幾重にも精神的ダメージを受けている市民に癒しの場をつくってほしい。
- 大ホールも小ホールも必要だという認識を持ってほしい。
- 人吉市が文化豊かな町だということをアピールしていくべきではと思う。
- 子供からお年寄りまで、文化を享受できるようにしてほしい。
- 芸術は、子どもたちの人間形成にとって大事である。きちんとした環境で演奏したり、聴いたりできるようにしてほしい。

厚生委員会報告

●委員長　徳川 禎郁　●副委員長　西 信八郎
●委　員　井上 光浩・村上 恵一・福屋 法晴

条例案件の２件を承認

「人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」は、子育て世帯の経済的負担軽減、次世代育成支援等の観点から、出産する国民健康保険被保険者にかかる所得割と均等割保険税の減額措置の新設に伴うものです。令和５年 11 月の出産から減額対象となります。

「人吉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」は、『就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律』の改正に伴うものです。

令和５年度一般会計補正予算を承認

主なものとして、被災町内会への外灯設備電気料金補助金や、小規模介護老人保健施設の非常用自家発電設備整備に伴う増額補正です。

こども食堂運営支援補助金は、市内の対象となる団体へ、光熱水費や配送に係る燃料費に対する補助金です。

また、新型コロナウイルスワクチン秋接種に伴うシステム改修費用や、受託医療機関へのワクチン配送に係る委託料などです。

消防費の増額補正は、災害時に指定避難所において、聴覚や視覚障がいがある方等が身につける、防災用スカーフを作製するものです。委員から、「障害の内容に合わせて色を変えたりするのか」との質疑に、「三色でスカーフの四隅に「目が不自由です」、「耳が不自由です」、「配慮をお願いします」という文字があり、必要な面を表にして使用するもの」との答弁がありました。

特別会計補正予算５件を承認

主なものとして、「国民健康保険事業」は、産前産後の国民健康保険税免除に対応するためのシステム改修によるものです。「後期高齢者医療」は、前年度からの繰越金や、負担金の精算によるものです。「介護保険」は、令和４年度介護給付費等に対する一般会計繰出金の精算に伴うものや、人事異動に伴うもの等です。「水道事業」と「公共下水道事業」は人事異動に伴う人件費の補正です。

復興・安全まちづくりに関する特別委員会

●委員長　牛塚 孝浩　●副委員長　平田 清吉　●委　員　全議員

本特別委員会は、令和２年７月豪雨災害からの復旧が、復興へのフェーズを迎えるにあたり、急激に多様化・複雑化する環境と、頻繁化・激甚化する自然災害からの安全なまちづくりを目指し、復興まちづくり及び球磨川水系の治水・防災対策に関する諸問題の調査を目的とし、本年６月定例会最終日の６月 28 日に設置されました。

当日に第１回目を開催し、正副委員長を選出しました。

第２回目を７月 21 日（金）に開催し、調査事項を、１）復興まちづくりについて、２）球磨川水系流域治水プロジェクトについて、３）各種自然災害の防災対策についてとすることとしました。また、執行部から人吉市復興計画及び人吉市復興まちづくり計画に基づく取り組み状況について、人吉市復興まちづくり計画の進捗について（青井地区、中心市街地地区）の説明を受けました。

なお、中神・大柿地区に計画されている遊水地の現況についても説明があり、中神地区における遊水地のイメージ図が初めて提示されております。

第３回目は、９月５日（火）に開催し、中川原公園災害復旧事業の進捗について、人吉市復興まちづくり計画の進捗について（青井地区、中心市街地地区）の説明を受けました。委員から、「仮設トイレは移動式か固定式か、公園はどのように整備するのか」との質問に対し、「トイレは移動式を考えており、出水期にどうするかも含めて検討している。また、住民説明会やワークショップでの意見を踏まえ、変更の可能性も含めて検討していく」と答弁がありました。

青井地区、中心市街地地区では、土地区画整理事業や避難路整備などの基盤事業に加え、都市再生整備計画や関連事業、社会実験等によるソフト事業等と連携しながら進めていくとの説明を受けました。山田川河川整備については、現況の形状と新たに整備する堤防や護岸などの形状や、今後のスケジュールについて説明を受けました。委員から、事業を進めていく際の住民説明会では、誤解を招かないようしっかりとした計画の下で実施するよう要望がありました。

経済建設委員会報告

●委員長　宮﨑 保　　●副委員長　牛塚 孝浩
●委　員　大塚 則男・本村 令斗・田中 哲

条例議案３件（１件は一部修正）及び案件議案２件を承認

人吉市企業立地条例の一部を改正する条例は、誘致企業に対して支給している補助金の交付要件等を緩和するものです。

人吉市まち・ひと・しごと総合交流館条例の一部を改正する条例は、温泉施設の使用料金を中学生以上「350 円を 450 円に」、3歳以上中学生未満「100 円を 250 円」、回数券「15 枚を 11 枚にし、3,500 円を 4,500 円」にするものでしたが、委員会での修正案で、中学生以上は、「400 円」、3歳以上中学生未満「200 円」、回数券は現行のままの 15 枚で 4,500 円とする修正です。

人吉市営住宅条例の一部を改正する条例は、相良町に建設中の災害公営住宅を市営住宅として追加するものです。

土地の処分については、人吉市上漆田の人吉中核工業用地3万 1,897 ㎡を2億 1,370 万 9,900 円で処分するものです。

財産の取得についての議決内容の一部修正については、相良町に建設中の、買取型災害公営住宅を資材や労務費の高騰によるインフラスライドなどに伴うもので、「24 億 7,392 万 7,298 円」を「25 億 7,953 万 2,208 円」に改めるものです。

令和５年度一般会計補正予算（４号）を承認

主なものは、農業委員1人・農地利用最適化推進委員6人の新委員の報酬増17万8千円。農業用施設の補修や改良のため、農業振興組合へ支給する原材料費 190 万8千円。鬼木地区の老朽化した農業用水施設パイプラインの改修に伴う調査計画作成負担金 62 万5千円。鹿 722 頭・猿9頭捕獲報償費 188 万2千円。箱わな 10 基購入費 130 万9千円。城本町、大村横穴群の西側市有林及び上原町の市有林から民地に張り出している樹木伐採等委託料 430 万円。ふるさと納税事務にかかるシティープロモーション広告費 1,000 万円。観光案内業務、地域おこし協力隊2人分 314 万円。市内一円の側溝しゅんせつ、道路維持補修、除雪など業務委託 700 万円。道路維持補修（補装・側溝修繕等）に係る工事費 1,000 万円。椿谷川橋梁詳細設計業務 1,100 万円。

付替え予定の椿谷川橋梁現地視察

行政視察

日　程：令和５年10月３日（火）～５日（木）

視察先：埼玉県草加市

項　目：スマートフォン等を活用した道路維持の取り組みについて

内　容：　埼玉県草加市では、市内の一部の道路にスマートフォンの加速度センサーを利用した道路パトロール支援システムを導入されています。

導入したことにより、定期的にデータを確認し、急速に悪化している路線の抽出や異常などが管理できているようです。

道路パトロール支援システムを搭載したパトロールカー

また、埼玉県内の自治体で利用している電子申請を利用して、市民から道路等の異常をスマートフォンやパソコンから通報できる取組をされておられます。写真を添付できることから、聞取り間違いや認識の相違が生まれにくくなったとのことです。

まとめ：　本市でこのシステムを導入するだけの費用対効果があるかは今後も調査・研究していく必要がありますが、スマートフォン等から市民が通報できる取組については、本市でも可能ではないかと感じました。また通報があればすぐ連絡を取りどのように進めるという仕組みを作れば、市民からの通報も増えていくのではないかとの意見がありました。

視察先：岩手県紫波町

項　目：公民連携によるまちづくり（オガールプロジェクト）について

内　容：　岩手県紫波町では、駅前の 10.7 ヘクタールの町有地を活用し、財政負担を最小限に抑えながら公共施設整備と民間施設等立地による経済開発の複合開発を行うことを目的に、平成 21 年に紫波町公民連携基本計画を策定し、公民連携によるオガールプロジェクトを推進されています。このプロジェクトにより、宿泊施設、飲食店、図書館、病院、マルシェなどが併設されており、それぞれの店舗で働く方の雇用の創出にもつながっていました。また、そのほかにもスポーツ施設として、岩手県サッカー協会が運営するフットボールセンターや、日本初のバレーボール専用体育館もあり、宿泊施設もあることから、合宿での利用も多いとのことでした。

公民連携により整備された施設

まとめ：　紫波町は岩手県のほぼ中央にあり、地理的にも恵まれていましたが、それを上手に利用されていると感じました。また、民間に任せることで、バレーボール専用体育館など特化した施設の建設も可能になっており、本市にも今後はこのような特化したものも必要になってくるのではとの意見がありました。

一般質問 ～市政の内容を問う～

一般質問通告書はこちらから

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧いただけます。

QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です

九日町・大工町災害公営住宅建設について

大塚　則男

動画視聴

問　災害公営住宅を九日町・大工町の商業地域に建設する根拠は。

答　商業地域は、主として商業その他業務の利便を増進するため定める地域とされ、銀行、映画館、飲食店などが集まる地域であり、住宅や小規模の工場も建てられる。

この地で商いをする方や生活する方が多くいることで、町内活動の維持、消費拡大につながっていくと考えている。中心市街地に再度、人を呼び込み、賑わいを創出したい、元々住んでおられた方々にも帰ってきていただきたいとの考えから、中心市街地での災害公営住宅整備は必要であると考えている。

問　**選定委員による市民に向けた説明会実施はできないか。**

答　選定委員からの住民説明会を実施する予定はない。

市営住宅施策・集落の高齢化問題　他

牛塚　孝浩

動画視聴

問　復興まちづくりと併せて、市営住宅の整備も同時に進めていかなければならないが、災害前と現在の入居状況はどう変化しているか。

答　４年前と比較すると全体の入居数は９４３戸で、空き部屋は１４０戸。空き部屋率は郊外では15・1％に増加し、中心市街地に近い所は12・1％で減少している。

問　**人口減少化社会を迎え、市営住宅の廃止や統廃合はどう進めるのか。また、住環境設備の不公平感を、どのように改善していくのか。**

答　公営住宅等長寿命化計画を策定しており、適正ストック数を設定し適切に管理。備品の整備は長寿命化第３期計画の中で検討したい

※集落の高齢化問題では、田野高原の野焼きの観光化や、ボランティアをつなぐ仕組みを提案した。

産後ケア、子育て支援事業について

徳川　禎郁

動画視聴

問　産後ケア事業において、こども家庭庁の通知に対応する協議はなされているのか。

答　令和５年度中に利用基準や減免措置の対象者、利用料金等の協議を実施し検討を進めていきたい。

問　**子育て援助活動支援事業（ファミサポ）の家事援助等の事業内容、また料金の見直しの考えは。**

答　家事援助を実施している自治体もある。今後、本市のニーズや協力会員の掘り起こしが可能かを見極めていきたい。

問　**産後ケア、ファミサポの申込等について、デジタル化の考えは。**

答　今後、利用者のニーズを把握した上で、費用対効果について検証しながら調査研究していきたい。

※その他、避難所の設備等、公営住宅の消防計画について質した。

職員の勤務体制について

池田　芳隆

動画視聴

問　**市長がマニフェストで掲げている「頑張る職員が報われる仕組みづくりを行います」とは、どういうことか。**

答　人事評価制度の活用を念頭に置いたもの。現在行っている人事評価制度は、職員の昇給や昇任、人事異動の参考にしている。それぞれの職員の職務遂行に応じた運用としている。これをさらに進化させた形で、職員の働きと人事給与制度全般が融合した運用ができないかと考えている。

問　**市長が考える「頑張っている職員」とはどのような人か。**

答　今、目の前に起きていることを常に自分事と捉え、自分の強みを活用しながら、解決方法を見いだし、人吉の未来のために目標を持って行動する職員と考えている。

学習用タブレットの活用と学校技術員の現況

福屋　法晴

動画視聴

問　**学習用タブレットは授業にどう活用されているか。**

答　タブレットと電子黒板をつなぎ、考えを共有し、児童・生徒の学習意欲を高める。考える力や表現する力、情報を活用する力、学ぶ力を育てることにつながっている。

問　**家庭での活用は。**

答　長期休業期間前等に、タブレットを積極的に活用した家庭学習が計画的に進められている。インターネット環境がなくても使用できる学習支援ソフトを導入している。

問　**学校技術員の配置と作業内容は。**

答　令和5年度から用務員を技術員に改め、9人から6人へ減。第一中学校を拠点とした業務体制とし、担当する学校を決め、作業は相互応援を行うよう見直し。主な作業内容は施設・設備の点検、営繕等。

浸水被害を軽減する治水対策の早い実現を

川上　紗智子

動画視聴

問　**国・県の球磨川水系緊急治水対策で人吉関係の事業は。**

答　国が現在実施している河道掘削と大柿・中神地区の遊水地、県の御溝川放水路整備。

問　**治水安全度を高めるために、堤防・宅地嵩上げや防水壁設置等を市として国に求めているか。**

答　球磨川水系緊急治水対策には令和2年7月と同規模の洪水に対して人吉区間では越水防止等、浸水被害軽減のために必要な対策が位置づけられていると認識している。

※その他、中川原公園の完全撤去時の水位低減効果の検証について、リスクのある分娩に対応してきた熊本労災病院の産科が廃止された場合の人吉への影響等について質問しました。

災害公営住宅(東校区)は条例違反では

本村　令斗

動画視聴

問　市営住宅等の整備基準を定める条例の７条では、災害の恐れが多い土地をできる限り避けるようになっている。災害公営住宅の予定地は、３年前の水害で１．５ｍ浸水している。条例違反ではないか。

答　８条で、危険な土地であるときは、安全上の措置を講じるようになっている。ピロティ等の浸水対策を取っており、違反ではない。

問　そもそも浸水しない土地なら条例に違反しない。他の２社の提案は、浸水が想定される土地なのか。

答　２社については、浸水が想定されない安全な地域となっている。

問　なぜ選定委員会の評価の視点には、浸水に関する評価がないのか。

答　提案される土地によって建設計画がなされ、評価の差が生まれることから、土地の評価項目はない。

ＪＲ肥薩線の復旧・運行の問題と市道改良

田中　哲

動画視聴

問　ＪＲ肥薩線の復旧費・運営費について、非沿線自治体の中には、運営費負担へ異論もあるようだが、意志の統一はできているのか。

答　県と地元自治体で作る協議会の副会長として、様々な意見をしっかり受け止め、最大受益地として応分の費用負担をする覚悟を表明している。市が強い意を表明することが地域の連携につながる。

問　ＪＲ肥薩線の輸送密度からすると、経営難の鉄道の存続を議論する国の新制度「再構築協議会」へ移行すると思うがどう対処するか。

答　現行の議論の枠組みが再構築会議に移行しても、鉄道の存続なくして人吉球磨地域の発展は無いという、鉄道の必要性を訴えていく。

※市道瓦屋川村線の未改良部分、戸越草津線の未改良部分を質した。

人吉市復興まちづくり計画について

平田　清吉

動画視聴

問　将来的に残す建設型応急住宅の改修は、早期にできないか。

答　改修については、建築確認申請と開発行為許可申請、熊本県から建物等の譲渡手続きなど、社会資本整備総合交付金の要件上、年度当初の申請を経なければ、事業に着手できないため、令和６年４月に社会資本整備総合交付金の申請を行い、工事に着手する予定。

問　上原田地区及び下原田地区農業用施設整備計画の今後の予定は。

答　上原田地区については、令和６年度に揚水ポンプ２か所の設置と送水管の埋設工事を、令和７年度から９年度に配水管の埋設工事を行い、工事を完了予定。下原田地区については、今年度基礎調査の予定。事業計画は令和９年度から14年度を予定している。

人吉市の児童、生徒の現状とこれから

松村　太

動画視聴

問　令和４年度全国学力・学習調査を受けての本市の対応は。

答　校内研修を通じて主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善をしている。また児童・生徒には学習意欲や家庭生活の見直しなど、家庭との連携をさらに強化する必要があると考える。各校の成果と課題を洗い出し、先生方の指導力向上にも取り組んでいく。

問　パワーアップ教室等子どもたちの成長の取組はどうしていくのか。

答　本市はコミュニティ・スクールを含め地域学校協働活動に力を入れている。開催については５者連携を踏まえ検討していきたい。

問　教育相談はどのような体制か。

答　ＩＣＴツールで学校生活アンケートを数校が実施。県のリーフレットでライン相談等紹介している。

国の関係機関へ意見書を提出

帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

帯状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどに伴う免疫力の低下により、体内に潜伏する水痘・帯状疱疹ウイルスが再燃し、発症するものである。

日本人では、50 歳代から発症率が高くなり、80 歳までに３人に１人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。また、帯状疱疹による神経の損傷によって、発疹が消えた後も痛みが続く「帯状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるとも言われている。

この帯状疱疹の発症予防のためには、ワクチンが有効とされているが、接種費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

そこで、政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、帯状疱疹ワクチン接種に係る助成制度の創設及び予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

意見書は、令和５年９月２６日付けで関係機関へ提出しました。

提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣です。

上記の意見書は、９月定例会において全会一致で可決しました。

＊＊　本会議を傍聴しませんか　＊＊

市議会の本会議は、どなたでも傍聴できます。

本会議を傍聴されるときは、傍聴席入口に備え付けの用紙に、住所及び氏名（団体の場合は団体名及び人数）を記入し、備え付けの箱に投かんの上入室してください。

（傍聴に際し、事前の許可が必要な場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください）ぜひおいでください。

議会報告会・意見交換会のご案内

議会報告会・意見交換会を下記のとおり開催します。４年ぶりの開催となります。どなたでもお気軽にお越しください。

日 時：令和6年2月3日（土）午後2時～4時（予定）

場 所：東西コミュニティセンター　2階会議室

人吉市子ども議会を開催しました

人吉市議会では、人吉市教育委員会と共催で「人吉市子ども議会」を令和５年10月16日（月）に開催しました。

市内３中学校の第３学年の各クラスから、生徒２名の合計16名からなる「子ども議員」が、市民生活と行政との関わり、市が直面するさまざまな課題やまちづくりについて、活発に質問しました。また、各学校の代表３名が議長を交代で務め、議事進行にも挑戦しました。

《各学校の子ども議員が質問した内容》

順	質問項目	質　問　の　要　旨	答弁者
1	第一中学校　3年2組 子ども議員　森口 京我、上村 碧 質問分野：その他	○制服の自由選択 ○トイレの表記変更 ○ダイバーシティとインクルージョン	教　育　長
2	第二中学校　3年1組 子ども議員　城本 晟良、吉田 芽衣 質問分野：復興	○人吉市の自然を生かした施設やアクティビティによる復興について ○SL 人吉を活用した復興の取組について ○土地区画整理事業に伴う青井阿蘇神社周辺の復興について	経 済 部 長 市　　長 市　　長
3	第一中学校　3年1組 子ども議員　藤田 奏夢、谷川 ななみ 質問分野：環境	○グリーンカーテンの設置とCO2削減のための「アクションカード」の実施、学校グラウンドの芝生化 ○温暖化対策に対する市の取組と今後の方針	教　育　長 市　　長
4	第二中学校　3年3組 子ども議員　丸内 真斗、西門 和奏 質問分野：福祉	○人吉市の運動施設について ○人吉市の交通手段について	教 育 部 長 副　市　長
5	第三中学校　3年1組 子ども議員　松永 華乃音、右田 乃の子 質問分野：観光	○環境整備について ○交通について ○アニメとのコラボや銅像設置について ○実現された項目について	経 済 部 長 政策統括監 経 済 部 長 市　　長
6	第一中学校　3年3組 子ども議員　西 碧斗、中村 莉緒 質問分野：観光	○ラッピングバスによる広告 ○神社仏閣と球磨川のコラボツアー ○SNSによるインフルエンサーマーケティング	経 済 部 長
7	第二中学校　3年2組 子ども議員　尾﨑 優太、宮原 寧音 質問分野：教育	○目指す学校施設「避難所全対応型の学校」について ○地域に溶け込む学校づくりの取組について	教　育　長
8	第一中学校　3年4組 子ども議員　坂口 湧進、馬場上 真子 質問分野：まちづくり	○居心地の良い広場づくり（子どもの居場所、チャレンジの機会の提供、遊び心のある人の居場所を兼ね備えた広場の設置）	市　　長

編集後記

お彼岸に相良三十三観音巡りをしました。賑わう札所を何か所か参拝した後、札所ではない鹿目町にある観音堂に伺いました。

ここ数年は新型コロナ対策で開帳できなかった観音堂ですが、今回はお接待をしていただきました。

観音堂での話ですが、地域の高齢化のために十分なお接待ができないと話をされていました。江戸時代から始まったとされる「観音巡り」、人吉球磨の人々の心の拠所として始まったものが、今では観光の重要な資源となっています。観音巡りの札所だけでなく、地域の財産である観音堂を守っていく方法を考えなければならない時期を迎えたのかもしれません。「人吉らしさ」を守っていくために。

（表紙写真・文責：池田　芳隆）

次の定例会は
11月27日開会の予定です

【議会報編集委員会】　委員長／宮原 将志　副委員長／福屋 法晴
委　員／松村 太・池田 芳隆・井上 光浩・村上 恵一・本村 令斗・田中 哲